

令和7年度（2025年度）北海道千歳高等支援学校 学校経営方針

職業学科を設置する道立知的障がい特別支援学校高等部のミッション：卒業後の職業自立（就職）に必要な専門的な知識や技能を習得すること

☐ 生徒の実態と教育環境 ☐ 生徒、保護者等と教職員の願い ☐ 地域社会との連携・協働 ☐ 学校教育の今日的課題		校訓	☐ 日本国憲法／教育基本法／学校教育法 ☐ 学習指導要領 ☐ 北海道総合教育大綱 ☐ 北海道教育推進計画 ☐ 石狩管内教育推進の重点 ☐ 特別支援教育に関する基本方針	
		「挑戦 Challenge 創造 Creation 協働 Collaboration」		
		学校教育目標		
		「志を持って社会を創る人間の育成」		

具体目標	
生徒が多くの人と関わり、「挑戦」や「協働」を体験し、「創造」することを通して、将来の社会自立・社会参加に向けた「社会で力強く生きる力」を養う ☐ 社会で生きて働く知識及び技能を習得し、未来の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を身につけ、学びを人生や社会に生かそうとする生徒を育てる ☐ 職業自立に向け、自己有用感・自己肯定感をもって、自分らしい生き方を展望し、実現する生徒を育てる	

目指す学校像
共に学び、共に育つ学校「信頼」「協力」「感動」～地域と連携した教育活動を推進する学校～ ☐ 生徒にとって「学ぶ喜びが分かり、自分の成長を確かめられる」学校 ☐ 保護者にとって「安心して子供を任せ、願いが確かな成長として伝わる」学校 ☐ 教職員にとって「生徒の成長を共有し、職務に生き甲斐と誇りを持てる」学校 ☐ 地域社会にとって「教育活動がよく見え、信頼され頼りにされる」学校

目指す生徒像	目指す教職員像
☐ 自分をより良くするため、挑戦する意欲と前向きな気持ちを持つ人 ☐ 自己を理解し、将来の生活に向けた選択や決定を通して、志を持ち自己実現を目指す人 ☐ 創造的な心と健全な体を持つ人 ☐ 他者と協働し、感謝の気持ちと謝罪の気持ちを素直に言える人、言われる人 ☐ 自己を律しながら、地域で生活できる人 ⇒「社会で力強く生きる力」を身に付け、生活に生かすことができる人	☐ 教育者として、強い使命感・倫理観と、生徒への深い教育的愛情を常に持ち続ける教職員 ☐ 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教職員 ☐ 学校づくりを担う一員として地域等と連携・協力しながら、課題に取り組む教職員

教育方針	経営方針
(1) 根拠に基づく指導と個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用により、将来の職業自立及び社会参加に繋がる確かな学力の育成に努める。 (2) 教育活動全体を通じて、望ましい生活習慣や態度を確実に身に付けるとともに、人と関わる力を高め、豊かな心の育成に努める。 (3) 体力の向上や心身の健康の保持増進を促し、健康で安全な活力ある社会生活を営むための資質や能力の育成に努める。 (4) 生徒の人権尊重を基盤として、個々のよさを活かし可能性を最大限に引き出す教育実践に努める。	(1) 教職員の持ち味を生かした学校組織の構築と教職員相互による信頼と協力・協働により、チーム学校づくりに努める。 (2) 保護者及び地域・関係機関へ積極的な学校公開や情報発信などを行い、地域に開かれた学校、地域とともにある学校の推進に努める。 (3) 研究・修養により、教職員としての専門性と資質・能力の向上を図るとともに、質の高い指導（授業・生活）や業務の推進に努める。 (4) 教育公務員としての立場を自覚し、ふさわしい言動、身なりに留意し、服務規律の遵守に努める。
教育方針の重点項目	経営方針の重点項目
① 個別の指導計画と両立した教育課程の編成・実施・評価 ② ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び ③ 交流及び共同学習や体験的な学習 ④ 地域の教育力・資源等の活用と地域への貢献活動 ⑤ 生徒理解と大人になるための育てる生徒指導（主体的な選択・決定） ⑥ 将来を見据えたキャリア教育及び進路指導・支援 ⑦ 望ましい食習慣、より良い食生活につながる食育 ⑧ 生活習慣や豊かな人間性を育む学校生活 ⑨ 成長を促すための、保護者・地域・企業等との互恵的連携	① 社会の変化に応じた教育課程の改善 ② 学校安全と危機管理 （安全教育／リスク管理／各種マニュアル／避難所） ③ 保護者及び地域等との連携・交流と情報発信 （コミュニティ・スクール／PTA等） ④ 地域の特別支援教育におけるセンター的機能の発揮 ⑤ 専門性の向上のための研究・修養の充実（全職員／教務・事務部門） ⑥ 計画的な予算執行及び健全な財政管理

今年度の重点目標：生徒の将来を見据えた「学習指導」と「生徒指導」 ～ 社会で力強く生きる力を身に付けるための「学び」と「地域」と「対話」～			
教務部門		事務部門	
学び 〈教育〉	学習指導要領を踏まえて、生徒と教師、生徒同士の対話による「授業」を通して、社会で力強く生きる力を育む	学び 〈教育〉	学校の学習指導等々の対話による「教育活動」が、円滑に展開されるよう、学校事務を推進する
地域 〈文化〉	キャッチフレーズ（下位目標）を通して、生徒・教師・保護者・地域との対話を続け、チーム力を発揮する学校をつくる	地域 〈文化〉	キャッチフレーズ（下位目標）を通して、職員間の対話を積極的に続け、チーム力を発揮する事務室をつくる
対話 〈経営〉	生徒の質の高い学校生活のために、コミュニティ・スクールでの運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な学習環境を創造する	対話 〈経営〉	コミュニティ・スクールでの地域との対話を受け、学習環境が創造できるよう、効果的・効率的な学校事務を推進する

今年度の重点目標を達成するための「チーム（組織）づくり」を目指して	
教務部門、事務部門等において、当該部署の目的・役割を検討した上で、年度の重点目標を踏まえた実現可能な「下位目標（キャッチフレーズ）」を設定し、「共通の目標のために、誰が何をやろうとしているか、誰もがわかる」ようにする。 【組織づくりの三原則】 ① 職員による目標の共有化 ② 組織の構成員としての貢献（協働）意欲の高まり ③ 情報が共有され、コミュニケーションの活発化	

研究主題
「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」～資質・能力の三つの柱に基づく授業実践と学習評価の取り組み～ 【2か年（2年次）】